



## よさを称賛して伸ばす

校長 須貝 克徳

4月6日に学校が始まり、およそ3週間が経過しました。新しい学年、先生、新しい勉強に子どもたちも少し緊張気味でしたが、次第に慣れてペースを掴んでいる様子です。

授業中教室を巡ると、静かに集中して先生の話を聞いている姿、課題に向き合って自力で考えたり、友達と意見を交わしたりする姿、自分の考えを進んで発表する姿等、意欲的に学習に取り組む姿がたくさん見られます。また、休み時間は、子どもたちは、広いグラウンドや体育館で元気いっぱい遊んでいます。

(私も、いろいろな学年の子どもたちと一緒に遊んでもらっています。)

さて、私が河崎小学校に赴任して、すばらしいと思うことがたくさんあります。一番すばらしいと感じたことは、あいさつのよさです。

朝玄関前で挨拶をしていると、多くの子どもたちが、大きな声で、目を見て、丁寧に挨拶をしてくれます。中には、その場に立ち止まって「校長先生、おはようございます」と頭を下げて挨拶をしてくれる子もいます。それだけではなく、わざわざ教務室や校長室に顔を出して、朝や帰りに、「おはようございます」「さようなら」とあいさつをしに来てくれる子もいます。

あいさつの他にも、男女仲良く遊ぶ姿、友達を大切にやさしい言葉掛けをする姿、隅々まで丁寧に掃除をする姿、感染予防のための手洗いや消毒、黙食、マスクの着用を徹底する姿など、たくさんの子どものよさを感じています。

このようなよさをたくさんもった子どもたちの姿があるのは、日頃のご家庭の教育力のおかげであると感じています。ありがとうございます。

教育の根本は、「教えて褒める」ことだと思います。子どもたちは、学校や家庭で教えられたり、自分で身に付けたりしたことを様々な場面で発揮しています。そのよさを認め、褒めることで、さらにがんばろうという気持ちが湧いてきます。

年度当初、職員には、ぜひ、子どものよさをたくさん見つけ、褒めて伸ばしてほしい、そしてよくないことがあった時でも、頭ごなしに叱るのではなく、理由をきちんと聞き、「こうなってほしい」という理想の姿を諭してほしいと伝えました。

今後も、子どもたちのさらによい姿を引き出すことができるよう、職員一同、一丸となって教育活動を進めて参ります。今後ともどうぞ、よろしく願いいたします。

